町税は納期限内に納めましょう

8月 町民税 第2期

9月 固定資産税 第3期

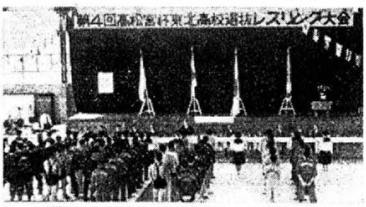
広報五城目

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
（電話 五城目 501番～505番）
印刷所 五城目印刷所 電話571番 （一部五円）

高松宮杯 東北高校選抜 レスリング大会

八戸工校、初優勝

四位に食い込む五城目高



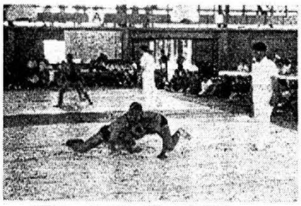
（写真 11校参加して行なわれた開会式）

第四回高松宮杯東北高校選抜レスリング大会は七月二十六日から二日間五城目第一中学校体育館で開催しました。

二十六日午後四時から開会式翌二十七日午前八時から仙台育英、山形商、八戸工、宮古、田島（福島）秋田、経大付属、秋田商、秋田工、十和田五城目の十一校で八階級の競抜が行なわれ、熱戦の結果52キロ級、55キロ級、58キロ級の三階級のタイトルを独占した八戸工業（青森）が初優勝を飾りました。

期待されていた本県勢は善戦むなしく、経大付属高校が三位五城目高校は四位、秋田工業高校は六位にとどまりました。

なお、日まだ浅い五城目高校の躍進は目ざましく、先輩校を押えて四位に食い込んだ実力は賞賛に値するもので、特に、65キロ級で優勝した柴田選手（新町）52キロ級で二位となつた藤原選手（飯田川）の活躍は立派なものでした。



（写真 本町柴田選手の活躍）

各校の順位と得点は次のとおりです。❶八戸工業高校15点 ❷仙台育英高校15点 ③経大付属高校11点 ④五城目高校8点 ⑤山形商業高校7点 ⑥秋田工業高校6点 ⑦秋田商業高校5点 ⑧秋田高校3点 ⑨十和田高校1点 宮古高校1点 ⑩田島高校0点

土木関係

先に着工した左記の道路改良工事は七月十日で竣工しました。

1. 富田線道路改良工事
2. 中村線道路改良工事
3. 羽立線道路改良工事

◉七月六日土木工事入札状況は次の通り。

1. 寺庭橋災害復旧工事 永久橋五十七米 九百七十八万円で藤井貞蔵氏に落札、十一月末竣工予定
2. 馬場目滝ノ沢橋災害復旧工事 永久橋七・三米 百三十万円で佐々木茂夫氏に落札、九月末日竣工予定
3. 町村門前線道路災害復旧工事 七十九万円で坂谷晴二氏に落札、八月末日竣工予定
4. 高千線道路改良工事 渡部京蔵氏に落札、八月十日竣工予定

県工事関係

1. 秋田森吉線（中川原 新丁地内）道路橋梁整備工事 二千七百三十七万円で道路及び仮橋工事は菅与組が施工しています。
2. 五城目～八郎潟線道路改良工事、第一期工事として川崎地内の改良工事は千八百万円で着工。

テープで結ぶ出かせぎ者と家族の声

町では七月二日から五日まで北海道へ出かせぎに行っている人と、るす家族との声の交換と出かせぎ先の調査を行ないました。

最近、出かせぎには賃金や労働条件などいろいろな問題が起っているので、これらの調査を兼ねながらるす家族の声を録音テープに収め、出かせぎ先を巡回して家族や町のようすを聞かせ、同時に父や夫の声を録音してるす家族に現地の模様を聞かせました。この試みはたいへんよろこばれていますので第二回目を九月に行なう予定です。

（写真 なつかしい父や夫の声によろこぶ）

町税

滞納整理に財務員を嘱託す

昭和三十九年度以前の町税滞納額は、五月三十一日出納閉鎖期日現在、一般会計（町民税、固定資産税など）で約一千三百万円、特別会計（国民健康保険税）で六百二十万円、合計一千九百二十万円の高額にのぼっています。

納税については、町民のみなさまから絶大なご協力をいただいて、着々円滑な行政を行ないつつありますが、その最も大きい財源である町税の収入成績によって行政の運営が左右されていることは、町民のみなさまもご承知のことと存じます。

ついては、一層円滑な町政をすすめるためにも積極的に町税の未納整理にのりだし、徴収の実をあげるため、専門にこれに当る財務員（佐藤敏蔵）を嘱託いたしました。

滞納されている方は納税の必要性をご理解くだされ、積極的にご協力くださるようお願いします。

施政のあらまし

人の和こそ町発展のかぎ

町長 小林源四郎

▼異状天候により心配された田植えも、隣接町村や男鹿方面から苗不足約一万把の協力を得て、例年より四、五日遅れ全反別植え付けを完了したことは農家をはじめ、私ども行政者としても喜びにたえません。しかし、その後の気象は順調とはいえませんので病害虫防除など万全を期する所存です。

▼当面の大きな問題である五城目小、馬川小の統合については町議会の皆さん並びに関係各位の協力を得て早期解決に当ります。

▼湖東病院については町、町議会、農協が一体となり、県厚生連会長及び関係方面にお願いし、現状維持を堅持するとともに八郎潟町とも意見を交換し、地域社会のよりよい開発を進めるための機会をつくりたい。

▼都市計画については土地所有者との間にある程度の話し合いが進んでおり、善意ある妥結の方向にありますので最終的には明るい見通しを持っています

▼本町の産業基盤をなす農協進展については、町でも各単協の考えと合せて上級指導陣の応援を得、特に合併についての大計を誤らないよう措置する所存であります。

▼全面積の約八十一％は林野である本町は、本年度から七千四百万円をもって林業構造改善事業を実施しますが、実施団体の町森林組合に協力し万全を期する所存であります。

▼本町の交通重点道路である五城目～八郎潟線はいよいよ着工する年であり、工費は今のところ一千五百万円ですが、国の補正予算で三百万円追加されることになっており、早期着工を県へお願いしております。

▼新産都市については、本町は隣町でもあり町民の関心が深いので関係各方面へ強力に陳情しました。大潟村もやがて指定に入るのは確実であり、八郎潟町とともに本町も区域に入る公算があると思います。

▼私が就任してから大体四か月になりますが、いち番大切なことは「人の和」で、私はあらゆる機会をとらえて卒直に考えをのべ、町民からも偽らざるまっすぐな意見を聞き、その上に立って町政を施行したいと思います。

その見地から毎月一回皆さんとの面会日を設け「なまの声」を聞くとともに、町民と町政執行者の和をはかり、ひいては全町民の「和」への架け橋となることを信じてやみません。

○ ○

町をよくするためにあなたのご意見を

町長面会日

「町長面会日」その第一回は去る七月十四日に行なわれました。

これは町行政、つまり町のやっていることについて、ああしてほしいとか、こうしてもらいたいといった、みんなの建設的なご意見やご希望を聞き、よりよい町づくりをするため毎月行なうものです。このたびは二十数人の面会者が熱心に意見の交換を行なったことは、皆さんが町政に対して理解と関心の深いことを物語っていることだと思います。

次回は八月十八日(水)午前九時三十分から正午まで役場町民室で行ないますからお気軽にお出でください。

お知らせ

▼乳幼児健康相談日の変更

毎月第二・第四水曜日に五城目保健所で行なっていた乳幼児健康相談日は、七月から第四水曜日一回だけに変更されました。受付は午後一時から二時三十分まで。

▼農業委員会から

※毎週火曜日を「一日農地相談日」ときめましたので、気軽にご利用ください。

※委員会の総会は毎月十一日を定例会としています。

※自作農資金の貸付について

農地を買い求めて経営を拡張しようとする農家または、病気あるいは災害などで経営が困難な農家に、資金貸付の借入申請を受け付けています。但し、毎月二十一日から二十五日までの五日間ですから、ご希望の方は町農業委員会事務局までお出でください。

▼国民年金から

七月は四・五・六月分の国民年金保険料を納める月でした。まだ納めていない方はかならず納め、いつでも保障を受けられるようにして置きたいものです

なお、ことしの九月一日から福祉年金は一律に月額二百円増額支給されます。

▽老令福祉年金 月額千百円を千三百円に。▽障害福祉年金 月額千八百円を二千円に。▽母子福祉年金および準母子福祉年金 月額千三百円を千五百円に

高千、バス開通

八月一日から高千へのバス路線が開通します。一日二回朝夕の運行で、時間は次の通りです

朝、五城目発六時三十五分、千日着七時九分。
千日発七時十五分、五城目着七時四十九分。
夕、五城目発五時二十分、千日着五時五十四分。
千日発五時五十五分、五城目着六時二十九分。

停留所は高田上丁、公民館前、終点千日となっています。

たばこは町内の販売店から買いましょう。

広報サロン

※豪雪ということばが日常語になったが、最近は豪雨ということばが、ニュースの日常用語になった。今に豪風ということばが生れるかもしれない。

春以来の異常天候に更にとどめを刺すかのように集中豪雨が二十二年以上の災害をもたらし被害額五十一億円を上廻るとのこと、これにイモチ病でもはびこっていたら農村はまさに泣面に蜂だ。

気象台の長期予報は八月中の気象も不安定で早冷の兆候だとは、いやはや大変な年だが、それにくじけてはいられない。

人力を尽して天命を待つ覚悟が必要だ。

宮沢賢治の詩の…「寒さの夏はおろおろあるき」は昔の農民の姿で、現代の農民はある程度科学を駆使して異常気象にたち向い、病虫害は未然に防止する気慨を持たねばならない。

わが五城目町も春以来火攻め水攻めの試練を受けているが、更に覚悟を新たにしてこのピンチを切り抜けるように、めいめいの地域で完全燃焼するべく、がんばり抜くことが肝要だ。

※町の姿は秀峰森山もマイクロウェーブのしゃれたベレー帽を戴き、大柄な縞模様のワンピースに衣更えしつつあるが、これをきっかけに近代的な町に発展しようとしている。時代の要請にこたえ、しかも百年の大計を誤らぬよう、徒らに郷愁に捉われている時ではない。 （K）

夏の総合防犯運動

7月21日～8月20日

この運動は全県一斉に始まりますが、運動の重点目標として

1 迷惑行為と暴力犯罪取り締りの強化

⊙締め出せ！暴力と迷惑行為　みた！聞えた！やられた！すぐ警察へ。

2 少年の非行防止

⊙うちの子どもに限って……といわず、この夏を楽しいものにするために行動、態度をよく見守っていきましょう。

ひとの子も、わが子も同じ愛の手で。

3 夏の犯罪（事故）防止

⊙盗難の防止、痴漢による性犯罪の防止、危険がん具の事故防止、交通の事故防止　防犯はみんな知ってる、忘れてる。

戸にもかぎ、心にもかぎ。

4 水死事故の防止

⊙水泳場の選定、こどもの看視ぼくも、きみも、あぶない場所でおよがない。

この防犯運動には警察、防犯組合、少年委員会、暴力追放対策委員会、学校など総参加で犯罪や事故のない明るい町をめざして努めています。みなさんのご協力をお願いします。

（五城目警察署）

「アッあぶない」
こどもを一人にするな

水の事故防止

夏休みを迎えるにあたって

町内小、中学校は七月二十一日から夏期休業にはいり、子供にとってはこの上もない楽しい期間ですが、この有意義で、しかも幸福な一定の期間を過ごさせるにあたっては、父兄、教師地域社会のかたがたの心のこもった配慮をいただかなければなりません。それぞれのかたがたがそれぞれの立場から、もうその準備をととのえておられることと思いますが、気のつくことを二、三記して参考に供したいと思います。

父兄の皆様へ

子供さんの教育は両親の皆さんが一番大きな責任をおっているのですが、ふだんは学習指導が主になるため大部分の事柄を学校におまかせしていると思います。夏休みは親の考え方をしっかり子供さんに植えつけることの出来る最良のチャンスですから強く、はっきりした心構えで子供さんに接していただきたいと存じます。具体的には

❶学校の先生と相談してきめた学習の計画をよく聞き、それを最後まで続けさせるよう励まし、かんとくするとともに家庭の仕事も年令に応じて手伝うよう夏休みのはじめに話し合ってきめておきたいと思います。子供をあまやかさないで、生きることのむずかしさ、家庭の発展のためには、それぞれの立場で努力していることを知らせ、たがいに助け合い協力しあって生きることの尊さや美しさをしっかり植えつけていただきたいと思います。学校にいっていると親と子がうちとけて話し合う機会も少ないので、手をとって家事の仕事をしながら、いろいろ学校での出来ごとや将来の希望、親の考え方など卒直に話し合うようにしたらいかがでしょうか。

❷学校から出された課題はいろいろあると思いますが、先生のかわりになって教えるという気持はやめたほうがいいでしょう。それよりも子供さんが勉強したいという時間はテレビをとめてあげたり、わからないところは子供さんといっしょに教科書や参考書でさがしたり、植物や貝の標本を作る時、箱や台紙を準備してあげたり、あくまでも良い協力者になることだと思います「学校で習ったのにどうしてわからないの!!」などとしかってはせっかくの勉強したい気持を弱めてしまいます。

❸事故防止には厳然としてきつい態度で臨みましょう。学校と警察は協力して非行の絶滅を期そうとしています。海や山、友達の家へ遊びに行く時も、帰宅時間を聞き、少しでも不安や不審の点があったら確かめてから出かけさせてください。親の不注意から、大事な子供さんにけがをさせないように特に気をつけたいと存じます。

県教育委員会五城目町派遣
指導主事　柳谷直正

史跡めぐり

中村の安養寺（その一）

郷土史研究家　分銅志静

馬場目の中村に安養寺という真言のお寺のあったことはあまり知られていない。この安養寺は修験道のお寺で、秋田藩で一番高い寺禄をもらっていた宝鏡院（今は廃寺になっている）の系統らしい。

安養寺のはじまりははっきりしていないが、今のこっている坊さんの墓の年号等から推して徳川初期頃に出来た寺のようである。当時は山嶽仏教の全盛時代であったので、おそらく馬場目の薬師岳（森山）と結びついて出来た山伏のお寺だったにちがいない。村の人の話では、その安養寺のあったあたりが、昔の薬師岳へのぼる入口だったということである。数年前にその寺跡を調査したが、その時採集した陶片（セトカケ）はいずれも徳川時代のもので、それ以前のものは全く見当らなかった。

同地の児玉孫左ェ門さんの家には、この寺の寺宝だったという真言宗の金剛、胎蔵両部のマンダラ、十六善神（大般若経の守護神）の絵図がつたえられている。そのうち金胎両部のマンダラは相当に時代がかったもので素人目には室町頃のもののように見えるが、昨年県文化財専問委員にみてもらった時は、やはり徳川初期ということであった。十六善神もほぼその時代だろうということであった。

また孫左ェ門さんの氏神のお堂には、もと薬師岳にあったという石の薬師如来二体がまつられているが、これも徳川中頃のもので、高さは十五センチ位、一つは石に彩色をほどこしてあるいずれも魂のこもった入念の作である。安養寺の婆さんがくらしに困って、児玉さんの家へ持ち込んだものだというが、そのことからも薬師岳と安養寺の関係がうかがえると思う。児玉さんは将来薬師岳にお堂が出来るようなことがあれば、いつでもお返ししたいと言っている。どうかして郷土の力で一日も早く旧に復したいものである。

また安養寺について忘れられないことは、この廃寺が現在の馬場目小学校の発祥の地となっていることである。馬場目小学校は明治十七年十二月に、中村安養寺跡の竜覚院という寺小屋と、町村の郷倉をつかった蕢陶舎の二つを合併して、蕗内台の現地にたてたのがはじまりである。竜覚院には秋田の根田俊雄という人が来て教えたという。この寺小屋は安養寺の廃寺あとをつかったというから、おそらく安養寺が廃寺になったのは明治十年頃、あるいはそれ以前ではなかろうか。

今この安養寺の寺あとは孫左ェ門さんの墓地となっているがそこには樹令四百年ほどの銀杏の大木がある。この辺では一寸めずらしい大木である。町の神明社の銀杏も大きいがその二倍くらいはある。

この大銀杏の紅葉は全く素晴しいもので、その黄金の偉容は遠く県道の方からものぞまれる。村の人達はこの銀杏の葉がちりはじめると、雪がやってくると信じている。この大銀杏は毎年、秋のおわりと冬のはじめを村人に告げるのである。

（写真　樹令四百年の大銀杏）

全町体育祭

上山内初の栄冠

（写真　夫婦2人3脚の風景）

第六回全町体育祭は去る六月二十七日五城目第一中学校グランドにおいて開催されました。

夜来の雨もすっかりあがり約六千人の参集者のもと新採点方法により、競技本意から参加する意義を尊重する方向に切り換え種目内容も新しい企画で好評を博しました。特に女子二十五才以上三十五才までの「ちょっと失礼」は大へんなかっさいをあびました。

なお、新採点方法による成績は次のとおりでした。

優勝	上山内	八十七点
準優勝	黒土	八十五点
三位	高千	八十一点
四位	湯ノ又	八十点
五位	下山内	七十八点
六位	蕗内台	七十七点

全国農村青年技術交換大会

七月二十七日から三十一日までの五日間、秋田市、男鹿市を会場に全国農村青少年技術交換大会が開催されます。

この大会は全国から選抜された農村青年が技術競技、演示発表などを主体として行なわれるもので、本町からは伊藤久夫（黒土）佐藤久兵衛（谷地中）小玉輝雄（町村）一関清（久保）加藤洋子（石崎）半田恵美子（大川）伊藤鉄夫（町村）伊藤徹夫（〃）小林正志（下山内）加藤茂子（西野）千葉真紀子（下山内）の十一人が参加します。

くらしのしおり

つゆもそろそろ終わりになり強い日射しが照りつける盛夏をむかえることになりました。

つゆのあとしまつ

つゆのあとしまつは主婦の大仕事の一つ。

長雨で家中がかびくさくなりますが、お天気のよい日は、押入れとか戸だなからタンス類まで開け放って空気をいれかえることですできるだけ中にいれてあるものを出して、湿気をとりのぞくようにします。

かびのはえた場所や道具類は熱いお湯に消毒洗剤を入れてきつくしぼったぞうきんで手早くふきとることです。

長雨時におりはおったガーディガンやうすものウールものは早く洗濯をして、虫にくわれないようにしょうのう類をいれたビニールの袋にしまっておきましょう。

40年度

社教機関・団体所属会員数まとまる

中央公民館では、激動する社会をどうのりきるかを大きな課題として、さる四月延三百人を越える参加者で開きしました社会教育大会を出発点にし、四十年度の社会教育活動を進めているが、全町民を対象とした活動は勿論ですが、直接対象になる社教機関、団体の構成員を調べてみたら、次のようにまとめられたのでお伝えします。

⊙青年会員の部

会名	会長	男	女	計
▽五城目	小玉武彦	三二	〇	三二
▽馬川	館岡隆一	二八	三	三一
▽森山	加藤信哉	二二	九	三一
▽馬場目	佐々木喜代治	四六	一七	六三
▽杉沢	佐々木倭夫	一五	五	二〇
▽富津内	大石巽	二九	四	三三
▽内川	沢田石生久男	三一	一一	四二
▽大川	伊藤興武	三九	一九	五八
▽五連青	沢田石亀雄	二一一	六八	二七九

⊙婦人会員の部

○五城目	佐藤　貞	五八六
○森山	小野文子	一五五
○馬場目	草皆千春	二八六
○杉沢	伊藤キク	一三〇
○富西	小林スケノ	一八三
○富東	小玉ハルエ	一九六
○内川	工藤さわ	二二八
○大川	北嶋実子	二八八
○五婦連	小玉ハルエ	二〇五二

⊙若妻会員の部

○五城目		六〇
○馬川	館岡次子	一〇八
○森山	近江ヨシ	六三
○馬場目	石井百合子	一一五
○杉沢	石川ヤシ子	八
○富西	大石ミナ	九四
○富東	渡部フサ子	六四
○内川		六八
○大川	小熊ミワ	一〇三
合計		六八三

⊙学級生の部

ー一家庭教育学級ー

学級名	学級生数	学級名	学級生数
馬川	八四	富西	三八
森山	三四	富東	一二三
馬場目	六一	内川	七七
杉沢	九三	大川	二〇

合計　八学級　五三〇名

ー一部落婦人学級ー

部落名	学級生数
○浅見内	九一名

ーへき地青年学級ー

学級名	学級生数	学級名	学級生数
馬場目	六五	内川	四五

合計　三学級　一一〇名

ー中央婦人学級ー

○主婦　五二　○若妻　六一

合計　二学級　一一三名

以上、団体会員数三〇一二名学級生八四四となり、それぞれ相当多くの人員が直接対象となるわけですが、最近の特徴や問題点については次号でのべます。